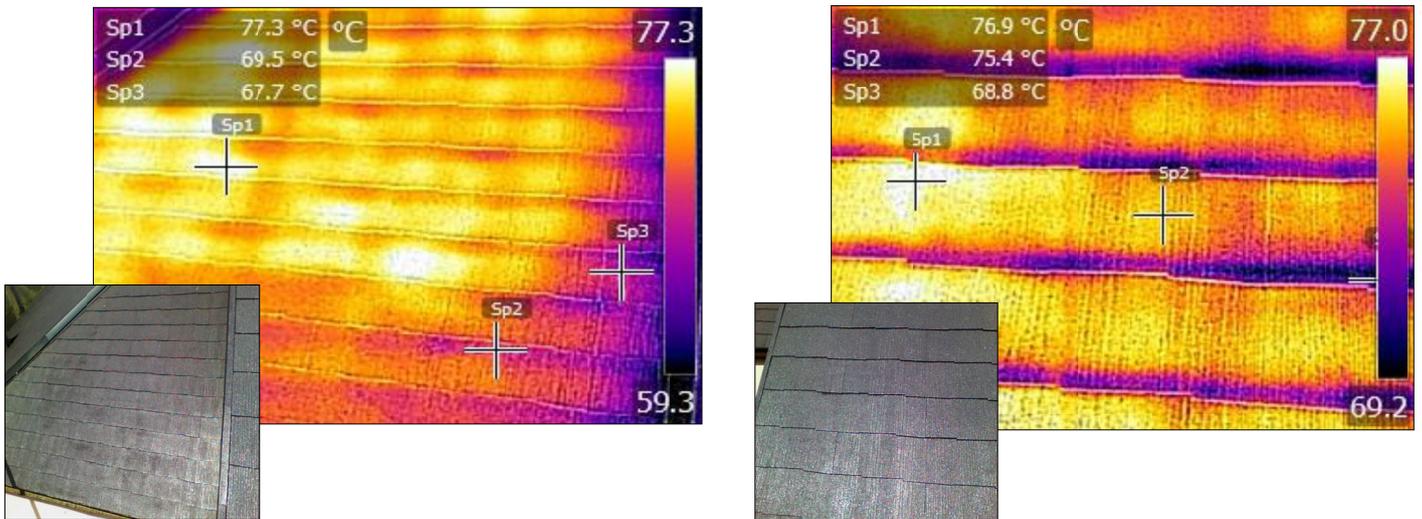


屋根の表面温度がこれほど**高温**になるって知ってますか。



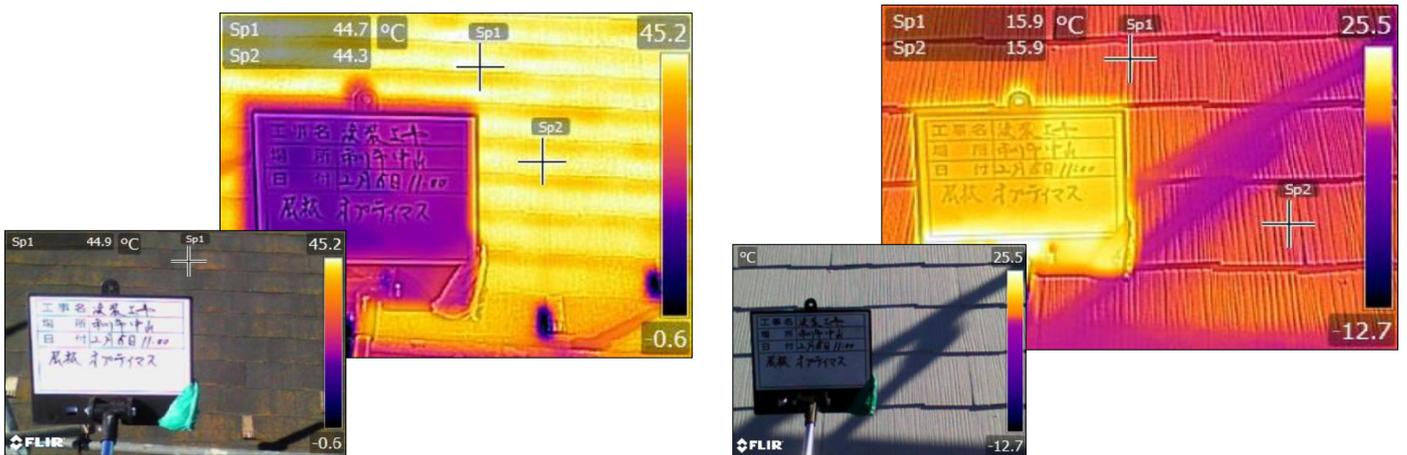
上の二枚の写真は6月18日 11時にサーモグラフィカメラで撮影したコロニアル屋根の表面温度のデータです。

暑いとはいえまだ真夏ではない6月18日屋根の表面温度は既に**75°Cを超えています**。これが真夏の猛暑になるとコロニアル屋根でも 優に**90°Cを超える**ことは上のデータを見て頂ければわかると思います。

これが**金属屋根**になると、**100°Cを超えてしまうほどの高温**となります。

この熱気は屋根裏から外壁内部全体に伝わり冷房をいくら低く設定してもお部屋の中が熱いといった状態になります。

弊社では屋根、外壁の塗装や、雨漏り診断・修繕のご依頼を頂く中で、お家の中の真夏の暑さの軽減や冬の寒さの軽減についてのご相談を受けることが多く、今回データをとりご



この写真は2月5日に 無塗装のコロニアル屋根と 遮熱、断熱機能のある塗装を施したコロニアル屋根のサーモグラフィデータです。

比較する際の正確さを出すために 同日時、同日当たり面、同じ角度から撮影したものです。

左のコロニアル屋根の表面温度は、SP1の点で**44.7°C**

対して**遮断熱塗装**を施した屋根の表面温度はSP1の点で**15.9°C**

その差は**28.8°C**もありました。

弊社ではこうした真夏の暑さや真冬の寒さを軽減する効果の高い塗装の専門店でもあります。

こうしたお悩みをお持ちのお客様は一度弊社にご相談ください。

これは**OPTIMUS**だからこそ出せる遮断熱効果です。